

委員長 休憩を解いて再開をいたします。 (15時47分)

引き続きまして、款別の質問は終了いたしましたので、一般会計歳入歳出決算事項別明細書以外の部分、ページで言いますと7ページ、18ページ、7ページから18ページ、財産に関する調書、決算に係る主要な施策の成果及び実績報告書、決算資料と総括事項について御質問のある委員は挙手を願います。総括です。

井上委員 ページ414ページをお願いします。その中でですね、町のやはり大切な基金というものが何本かあります。その中で一番財政調整基金がですね、いざというときのための蓄えというふうなございます。ここに出ておりますのは、決算年度末現在高11億9,500万円、プラスですね、歳計剰余金処分で2億円ということで、約14億円。またさらに地方交付税等の増も見込まれるということで、今後のですね、令和4年度末のですね、松田町財政調整基金の年度末見込み、令和4年度の年度末見込みが分かりましたら教えていただきたいということと、今後ですね、財政調整基金の積立て等については、どの程度までですね、財政担当等は考えてられるのか。そういった考え方をお示しいただきたいと思えます。

財政係長 まず、令和4年度末見込みでございますけれども、令和4年度予算ではですね、繰入金をですね、1億2,500万円見込んでございますので、それに先ほど井上議員おっしゃっていた歳計剰余金の処分で2億がプラスされまして、差引きでですね、4年度末見込みは12億7,076万1,000円で今のところ見込んでございます。

今後のですね、財政調整基金、どのくらいまで積んでいくのかというところはですね、さしては決まった目標みたいなものは今のところはございませんが、今後ですね、よく話題に出ます広域のごみ処理場、あるいは消防の松田分署などですね、建て替えは広域で見込まれてございますので、その辺の経費自体がまだはっきりとしたものが見えてございませんので、そこに備えて着実に財政調整基金の額はキープしていきたいというところでございます。以上でございます。

井上委員 回答ありがとうございました。そういったですね、今後のですね、まだ事業確定がしてないんですけれども、大型の経費が見込まれると、またさらにですね、駅前の周辺整備事業もですね、私が一般質問の中で要望等したのは、やはり地権者とかデベロッパーだけで再開発ビルを建てるのではなく、やはり町のはずいぶん、公共施設をというふうな考え方もあります。その辺は今後のですね、住民がどういうふうに考えていくか。その辺をまた町がどのように予算を政策に反映をしていくのかによろしいと思います。ですのでですね、私の考え方としては、余裕があるときには、なるべく財政調整基金に積立てをするということで、なかなかそれ以外の基金はですね、特定目的基金のほうは積んじやうとそこでしか使えないというところもあります。今後はですね、まずはさらに10億、広域のごみ処理施設だけでもですね、かなりの額が松田町の負担額となるということも考えられます。そういったところも含めましてですね、私は余裕財源があるときにはなるべく財政調整基金に積み立てていきたいというふうに考えます。担当課長のですね、お考えを聞いて終わりたいと思います。

参事兼政策推進課長 そうですね、今、井上議員と同じ考えであります。広域的な部分については、特定目的基金ではなく、全体の財政状況を踏まえてですね、今後ごみ処理場、消防施設等はですね、全体のバランスを今年度以降にですね、必ずしもやっていくということを踏まえて、そこにためておいて、そこに充てるではなく、年度年度のですね、財政状況をしっかり運営していくということで、基金のほうには財政調整基金のほうにはしっかり積み立てていけるときは、ちゃんと余剰金を積み立てると条例に書いてございますので、そのように取り組んでいきたいというふうに考えてございます。以上です。

井上委員 終わります。

委員長 ほかにございませんか。

ないようでしたら、これで総括的質疑を打ち切りますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

ありがとうございます。異議なしと認めます。質疑を打ち切ります。

それでは、職員の方につきましては、長時間にわたりまして応答していただき、ありがとうございました。これを持ちまして質疑を終了としますので、退席をしていただいて結構でございます。大変長時間にわたり、ありがとうございました。

(町側職員 退席)

委員の皆様方につきましては、長時間にわたりまして大変お疲れでございました。御苦労さまでございます。

それでは、ただいま質疑が終わりましたので、採決に入ります。令和3年度松田町一般会計歳入歳出決算につきまして、賛成の方の挙手を求めます。

賛成多数でございます。令和3年度松田町一般会計歳入歳出決算につきましては、可決すべきものと決定をいたしました。

お諮りいたします。報告書の作成について、どのような形にしたらよいでしょうか。御意見のある方、お願いを申し上げます。

平 野 委 員 長 もし何か御意見があるなら、皆さんに少しお聞きして、あと委員長・副委員長に素案をお任せしたいと思います。

委 員 長 今、4番議員からそういう意見がございました。そういったことで御異議ございませんか。

(「異議なし」 の声多数)

それでは、正・副委員長で原案を…。

平 野 委 員 長 皆さんの意見を。

田 代 委 員 長 皆様の意見をということ。

平 野 委 員 長 皆さんの意見を聞いた後で。

田 代 委 員 長 あと正・副で。

委 員 長 だから聞きますよ。その後言うんですよ。正・副委員長で原案を作成しますが、特別委員会の報告書を作成する際に強く申し入れたい内容や特記事項を報告書への記載について、皆様方の御意見をお願いをいたします。ここでお願いします。

田 代 委 員 長 先ほどは議事進行、失礼いたしました。私は木質バイオで時間をとらせてい

ただいたんですけれども、これにこだわったのが、3年度予算、凍結ということでスタートしました。それで、いろいろ説明して、疑問点が解けたので、3年度執行したわけです。それからまたこの次に向かった中で、新年度予算、4年度予算も50万計上されましたのでね、進捗状況を聞いたんですけれども、かなり疑問点がありました。ここで附帯項目ということで、私の素案を読み上げます。後で渡します。メモを渡します。

木質バイオマス利用促進事業補助金は、今後この事業を持続的に自立した運営を行う必要があるため、関係団体の指導・調整を図りたいと。

これは私の素案ですので、この辺についてまた正・副委員長で調整するときに配慮頂ければありがたいと思います。私の考えは以上でございます。

委員長 田代議員から、そういった意見が出されました。ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

1つじゃちょっと寂しい。決算審査です。

平野委員 監査の報告の中では、財調のことをね、たまっているということで、基金が充実しているということで、将来を見据えた画期的な施策を検討されたいというようなアドバイスがされたことなんですが、先ほどの井上議員の質問の中でも、私もそのほうがいいなと思ったのは、やはりいろいろまだまだ予想ができていないけれども、はっきり十分には分からないものが控えているので、やはりそういうところを意識して、しっかりと基金を充実させてほしいという意見に逆行しちゃいますかね。委員長、監査なので。

委員長 いやいや、それは別に構わないと思いますよ。今、先ほど井上議員が申されたとおり、剰余金があったらできる限り財調のほうへ積んでほしいと、そういうことですね。そういった意味合いを。

平野委員 大型事業が予想されるのでということで。

委員長 井上議員、その辺のところをうまく何か言葉、まとまらないですかね。

井上委員 私が。

委員長 そうそう。言い出しっぺだから。

平野委員 あまりちょっと監査と逆行するような表現だと嫌だなと思うんですが。

委員 長 いや、別に、監査は無駄遣いしろと言ってるわけじゃないですから。

平野 委員 そうですよ。

井上 委員 財政調整基金の今後の運営については、財政需要等を的確に把握した運用を行われたいとか。

委員 長 財政需要をな。それはだから結局、消防署なりごみ焼却場なりな、いろいろのことを考えてね。

井上 委員 今後の。

委員 長 そうだね。それ、やっぱり入れたほうがいいでしょうね。

田代 委員 いいですね。大きいあれですよ。あと1点ぐらい欲しいですね。

委員 長 本当はね、もう1点、何かでっかいことないかな。

井上 委員 令和3年度…いいですか。

委員 長 どうぞ。

井上 委員 令和3年度の決算については、歳入、地方交付税の増等、歳入には恵まれた決算であるが、やはり今後の国の地方行政に対する姿勢等を鑑みると、やはりまだまだ今後の予想が、財政需要の予想が必要だということで、慎重な運営を図られたいとか。さっきと同じようなちょっとことになってしまいますけれども。

平野 委員 じゃあ、決して楽観はできないみたいにしたら。国の地方行政の方針を見ると、決して…。

井上 委員 ある程度、今ある部分は吐き出しちゃうけど、あとはやはり地方創生なので、あとは自分たちでやってくださいよというのが、もう見え隠れしていると。

平野 委員 今回、財政規模もすごい増えているけど、本当にコロナのこともあったし。

田代 委員 今後は交付税がもう減少されるのは目に見えているから、そういう言葉を枕言葉に入れて、今の言葉でつなぐといいのかな。決して楽観できないですよ。一時的なものだよ。こんなことは、もう2年、3年続かないよ。そんなことでお願いいたします。

委員 長 分かりました。今のちょっと要約します。3年度の決算については、交付税等の増で恵まれた決算でありましたが、今後の国の財政状況も見据えて、適正

な財政運営を図られたいと、こういった意味ですか。

(「はい、結構です。」の声あり)

よろしいですか。この3つでいいですね。

じゃあ、暫時休憩といたします。

(15時59分)